

豊橋公園図鑑 2019 No.1 NPO法人東三河自然観察会

早春の豊橋公園で似たもの探すと、増えてしまった外来種を考える

似たもの

キュウリグサ ・ ハナイバナ ノビル ・ アフリカチゴアヤメ

イヌノフグリ ・ オオイヌノフグリ

今猛威拡大中の外来種2種！！

メリケントキンソウ

南アメリカ原産

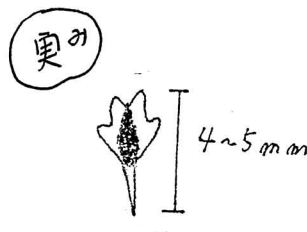
1930年頃和歌山県で発見された。

2012年には豊橋公園に侵出していた模様。2017年4月に大繁茂している様子が確認された。以後勢力拡大中。

愛知県域内に侵出。公園や学校校庭、人家の庭にも現れる。

4月後半から出来る、鋭い棘のある種子は発芽力も強力で、量も多い。

棘のある種子で怪我をする人も。効果的な駆除が見つからず、問題の外来種。



アフリカチゴアヤメ

南アフリカ原産

2012年に豊橋公園で発見。踏みつけに強く現在猛烈な勢いで増加中。何故侵入したのかは不明。

今の所、豊橋公園のみに見られている。

この仲間の固い葉っぱは、食べた家畜の胃の中でボール状に固まってしまい、健康被害を及ぼすことが知られている。人への被害は無い。

